

OutDoor by ISPO 2023
ファイナルレポート
国際スポーツ用品専門見本市
2023年6月4日～6日

2023年6月6日

OutDoor by ISPO 2023 は、世界的成長軌道に乗る

Summary

- 展示エリア 35,000 m²が出展社で埋まる
- 出展社 661 社、内 83% がドイツ国外から
- 来場者は、88 カ国から 9,000 人



Facts & Data

会 期	2023年6月4日(日)～6日(火) 9時～18時(最終日 17時)
会 場	MOC(Munich Order Center)
主 催	メッセ・ミュンヘン(Messe München GmbH)
規 模	35,000 m ² (2022年 30,000 m ²)
出 展 企 業 数	661 社(2022 年度 30 カ国から 310 社)
来 場 者 数	88 カ国から 9,000 人(2022 年度 7,670 人)
主 な 出 展 品	登山、トレッキング・ハイキング、キャンプ・旅行、ウォーキング・ハイキング、バイクスポーツ、サーフィン・ウォータースポーツ、パラグライダー、乗馬、釣り、狩猟、屋外フィットネス、ヨガ、スポーツウェア、機能性ファブリック 各種用品、用具など
併 催 プ ロ グ ラ ム	Innovation Lab、Sustainability Hub Guided Tour、OutDoor by ISPO Press Conference、ISPO Award ほか
出 展 日 本 企 業 (現法出展など含む)	新富士バーナー(株)、帝人フロンティア(株)、原田産業(株)、(株)V&A JAPAN、三井物産テクノロジープロダクツ(株)、山本化学工業(株)、YKK(株) ほか
専 用 U R L	www.ispo.com/en/outdoor (英語、ドイツ語)

2023年6月4日から6日までドイツ・ミュンヘンのMOC会場で開催されたOutDoor by ISPO 2023は、再び成功の記録を一新させた。昨年、OutDoor by ISPOはパンデミック後の開催として輝かしい成果を挙げた。今年は更に盛大な開催となり、アウトドア産業とコミュニティにおけるグローバル・プラットフォームとしての存在感を高めた。今年は屋内展示ホールと屋外展示スペースを併わせて、35,000㎡のすべてが出展者ブースによって埋まった。その拡大の主要因はドイツ国外からの出展の大幅な増加である。出展者全体の83%がドイツ国外の企業であり、前回の68%から15ポイントも増加している。とりわけアメリカと中国からの増加が著しい。OutDoor by ISPOは、メッセ・ミュンヘンが主催する見本市の中で最もワールドワイドな見本市のひとつとなった。

アウトドア業界が多くの課題に直面しているにもかかわらず、会場は前向きなムードに包まれた。出展者数は前回2022年の310社から661社に倍増、ドイツ国外からの出展者は前回の213社から554社へと大幅に増加し、OutDoor by ISPOが世界的に重要なプラットフォームであることを証明した。出展者多数の上位国は、中国、ドイツ、アメリカ、そしてスカンジナビア諸国である。また、adidas Terrex社やOn社といった著名な企業の初出展が目立ったほか、Berghaus社、J. Lindeberg社、Nomad社、Pegasus社、Brunton社、Sidas社、Norrona社、Cavida社、Igloo社、Gonso社、Devold of Norway社、Montura社、Hestra社、TentBox社、Wølmark社などの一流企業が出展した。また、前回の2022年には出展を見送りながらも今回改めて出展した企業



に、Rab/Lowe Alpine社、Sea to Summit社、Scott社、Ortovox社、Nordisc社、Jack Wolfskin社、Mammut社、Deuter社、Big Agnes社、Edelrid社、Grüzi Bag社、Millet社、Ortlieb社、Vaude社、Merrell社、La Sportiva社、Lowa社、Meindl社、Petzl社、Osprey社、Mountain Equipment社、Nordisk社、Fjällräven社、Icebug社が名を連ねる。

大幅に増加したのは出展者だけではない。今年はフランス、イタリア、オーストリア、スイスなどのヨーロッパ各国やアメリカ、カナダ、アジア諸国の88カ国から約9,000人が来場し、最新のトレンドや商品、コンセプト、イノベーションに関する情報を入手し、貴重なビジネスネットワークを強化した。清々しい初夏の気候に恵まれ、4ホールと4アトリウム、そして多くのショールームとワークショップ、会議室、さらに5,000㎡の屋外スペースは、共通のテーマ「アウトドア」の下で、これまでになく活気に溢れた。また、今年ISPO Awardで選出された34件のアウトドア・イノベーションと新企業17社のスタートアップ展も多くの来場者を惹きつけた。



論を大きく前進させた。

今年のOutDoor by ISPOでは、循環型経済をテーマに、「Sustainable Hub」のエリアで数多くのプレゼンテーションやパネルディスカッション、ワークショップが開催された。業界は、EUが掲げる積極的な持続可能性目標は循環型経済なしには達成できないことを認識している。このテーマは、原材料の調達から設計、小売業者から消費者、そしてリサイクル関連企業に至るまで、バリューチェーン全体に影響を及ぼす。今回、新たにEOG (European Outdoor Group)が運営するEuropean Outdoor SummitをOutDoor by ISPOに組み込むことによって、持続可能性に関する議

アウトドア産業の発展の可能性は非常に大きく、それに伴って OutDoor by ISPO への期待も高まっている。急速に成長する市場の需要と業界の期待に応えるため、次回から会場を現在の MOC からメッセ・ミュンヘン会場に戻すことに決定した。今後より広いスペースを活用し、OutDoor by ISPO と EOG の協力を強化することによって、最適環境のビジネスプラットフォームへと発展していくことになる。



主催メッセ・ミュンヘン CEO のシュテファン・ルンメルは、「今年、アウトドア市場は多くの課題に直面している。それにもかかわらず、業界内では、OutDoor by ISPO が重要なグローバルビジネスの場と認識されていることをありがたく思っている。この重要性は、今後更に高まっていくものと期待している」と述べた。

また OutDoor by ISPO エキシビション・ダイレクターのレナ・ハウスホーファーは、「去年のほぼ 2 倍のスペースで開催された今年の OutDoor by ISPO には、多くの出展者、来場者が戻ってきてくれ、さらに新規の出展者も多かった。メインテーマである循環型経済とそれに関わる会議プログラムも大きな注目を集めた。次回、メッセ・ミュンヘン会場に移して開催される OutDoor by ISPO 2024 では、より広いスペースと好条件が、私たちに必ずや最高のビジネスパフォーマンスを発揮させてくれるであろう」と語った。



EOG (European Outdoor Group) 社長の Matt Gowar 氏は、「OutDoor by ISPO は、この時代に見本市をいかに成功させられるかという明確なコンセプトを持ち、その展開によって、アウトドア業界をひとつに団結させた。昨年来 EOG はメッセ・ミュンヘンのパートナーと協力して、見本市の改良に取り組んできたところ、その活動成果が挙がってきている。昨年出展を見送った多くの出展者が今年戻ってきたことは、本当に心強いことであり、ほかの企業や団体も続いてくるものと期待している。なお、次回 OutDoor by ISPO 2024 への期待は、現在既に高まってきている」と述べた。

次回 OutDoor by ISPO は、2024 年 6 月 3 日から 5 日まで、メッセ・ミュンヘンの見本市会場で開催される。

出展社の声は、こちら：

<https://www.ispo.com/en/press/press-releases/outdoor-ispo-2023-global-growth-path>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)